

第3学年国語科学習指導案

日 時 平成28年9月28日(水)

児 童 3年 男10名 女7名 計17名

- 1 単元名 書き手のくふうを考え、わたしのおすすめの理由を手紙に書いて伝えよう
- 中心学習材 「ほけんだより」を読みくらべよう(東京書籍 3年 上)
- 補助学習材 「ほけんだより」(東京書籍国語301 3年上)を含む様々な「たより」

2 付けたい力言語活動

《主となる指導事項》

- ◎目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。(読イ)
- 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。(読オ)

《付けたい力》

- ◎書き手の意図によって事柄の取り上げ方や説明の仕方が異なることを理解し、表現の工夫をとらえながら読む力。
- 書き手の工夫の効果を読み比べて考えたことから、互いの感じ方の違いに気付く力。

《言語活動とその特徴》

- ◇二つの「ほけんだより」を読み比べて、どちらの文章がよいと思うか、理由を明確にして、わたしのおすすめの理由を手紙に書く。
- ◆「ほけんだより」を読んでおすすめ理由を書きまとめるためには、取り上げていることや表現の工夫に着目しながら読む必要がある。二つに着目して書きまとめることで、書き手の意図による事柄の取り上げ方や説明の仕方を理解し、表現の仕方を読むことができる。

3 単元について

(1) 児童について

児童は、「読むこと」のイ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと」に関しては、5月学習材「自然のかくし絵」において、昆虫がどのようにして敵から身を隠しているのかを紹介する図鑑を作る言語活動を通して、大事な言葉や文に着目して段落ごとに書かれている内容をとらえながら読むことを学習してきた。

また、オ「文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと」に関しても、「自然のかくし絵」において、読み取った内容について、児童の昆虫についての知識や情報、体験などと比較したり、関連付けたりした感想を図鑑に書き加える活動を通して、どの段落に書かれている内容からの感想なのかを明確にして伝え合うことを学習してきた。

児童は、昆虫がどのようにして敵から身を隠しているのかを、大事な言葉や文を見つけることはできたが、その段落の内容をまとめることができない児童が少なくなかった。また、感想を書きまとめる際にも、自分の感想の根拠となった段落や文章が不明確な児童が多かった。

(2) 学習材について

第3学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む力を身に付けさせるとともに、幅広く読書をしようとする態度を育てる」である。これを受けて本単元では、「筆者の表現の意図によって取り上げている事柄や説明の仕方が異なることについて考えることができる」を主目標とする。

中心学習材『「ほけんだより」を読みくらべよう』は、「朝ごはんをしっかりと食べよう」ということを伝える目的は同じであるが、事柄の取り上げ方や説明の仕方が異なる二つの文章である。一つ目は、「朝ごはんの役割や効能を科学的に説明することで、朝ごはんの大切さを理解させる文章」であり、二つ目は、「朝ごはんと体調不良の関係をデータを用いて説明することで、朝ごはんの大切さを理解させる文章」である。つまり、同じ目的であっても、書き手の意図（ここでは、「朝ごはんを食べると」か「朝ごはんを食べないと」）によって、事柄の取り上げ方や説明の仕方といった書き手の表現の工夫を読み取る力を付けることができる教材である。また、自分だったらどちらの文章を読むと朝ごはんを食べようという気持ちになるか（効果的か）を考え、読み取ったことを根拠として理由を明確にした文章で書き表すことによって、交流活動で互いの感じ方の違いに気付かせることができる。そして、書き手に「わたしのおすすめ」として手紙を書くことで、よりよい表現の工夫を主体的に考えることもできる学習材である。

(3) 指導について

児童は、本単元で、図版などが含まれた実生活のテキストを初めて読み、そこから事実と意見との関係を考え、書き手の工夫を読み取ることとなる。そこで本単元の学習は、既習事項を生かして段落ごとに書いてある内容を確認し、表現の工夫を読み取ることに焦点化して進めていきたい。また、書き手の意図が異なる二つの文章を読み比べ、どちらの文章がおすすめなのか、理由を明確にさせて自分の考えを伝え合い、互いの感じ方に違いがあることに気付かせたい。

第一次では、歯みがきの大切さを伝える二つの保健だよりのどちらかを配布するかで悩んでいる自校の保健室の先生に、どちらの文章から歯をみがこうという気持ちになったか、その理由を手紙に書いて伝えることを学習課題として設定する。手紙にはおすすめの理由を明確に書き、互いの考えを交流し合うことができるように読み比べる学習をしていく計画を立てる。

第二次では、中心学習材『「ほけんだより」を読みくらべよう』で、朝ごはんの大切さについて書かれた二つの「ほけんだより」を読み比べ、事柄の取り上げ方や説明の仕方の違いから書き手の表現の意図を読み取っていく。読み比べるときには、まず、二つの文章に共通しているところ（「はじめ」「おわり」）を見付けさせることで、書き手の伝えたいことを読み取る。次に、二つの文章の違うところ（「中」）について、大事な言葉や文に気を付けながら書かれている内容を短くまとめることで、違った事柄を取り上げて説明していることに気付かせる。また、書き手がどんな願いでそれぞれの文章を書いているかを考える。さらに、読み手の気持ちを想像したり、どちらの文章の方が「朝ごはんをしっかりと食べよう」という気持ちになったかを考えたりしながら、選んだ理由を明確にした文章を書かせ、書いた内容をグループで交流する。交流するときには、自分の理由と友達の原因を比べながら聞き、一人一人考え方や感じ方に違いがあることに気付かせる。

第三次では、保健室の先生が悩んでいる二つの文章について、事柄の取り上げ方や説明の仕方の違いから書き手の意図を読み取り、どちらが「歯をしっかりとみがこう」という気持ちになったか、理由を明確にした手紙を書き、発行するときの参考にしてもらう。

〈中心学習材と言語活動〉

<p>5月 「自然のかくし絵」</p> <p>段落ごとの内容をとらえながら読むため、昆虫の身の隠し方を読み取り、児童の昆虫についての知識や情報、体験などと比較したり、関連付けたりして感想をもち、交流する。(図鑑)</p>	<p>9月(本単元) 「ほけんだより」を読みくらべよう</p> <p>書き手の工夫を考えるため、二つの「ほけんだより」を読み比べ、書き手の意図を読み取り、どちらの文章がよいと思うかの理由を明確にして書き手に「わたしのおすすめ」を手紙にして伝える。(わたしのおすすめの手紙)</p>	<p>11月 「もうどう犬の訓練」</p> <p>大事な言葉や文を見付けながら読み、書かれている内容を要約するため、働く犬について読んで調べたことをまとめて、リーフレットで紹介する。(リーフレット)</p>	<p>1月 「人をつつむ形」 —世界の家めぐり</p> <p>文章や絵などから読み取ったことを整理しながら読むため、文章や絵、写真から読み取ったことをもとに、家のつくりについて自分の考えをまとめて、紹介カードに書く。(世界のくらし紹介カード)</p>
--	--	---	---

4 単元の指導目標と評価規準、指導計画

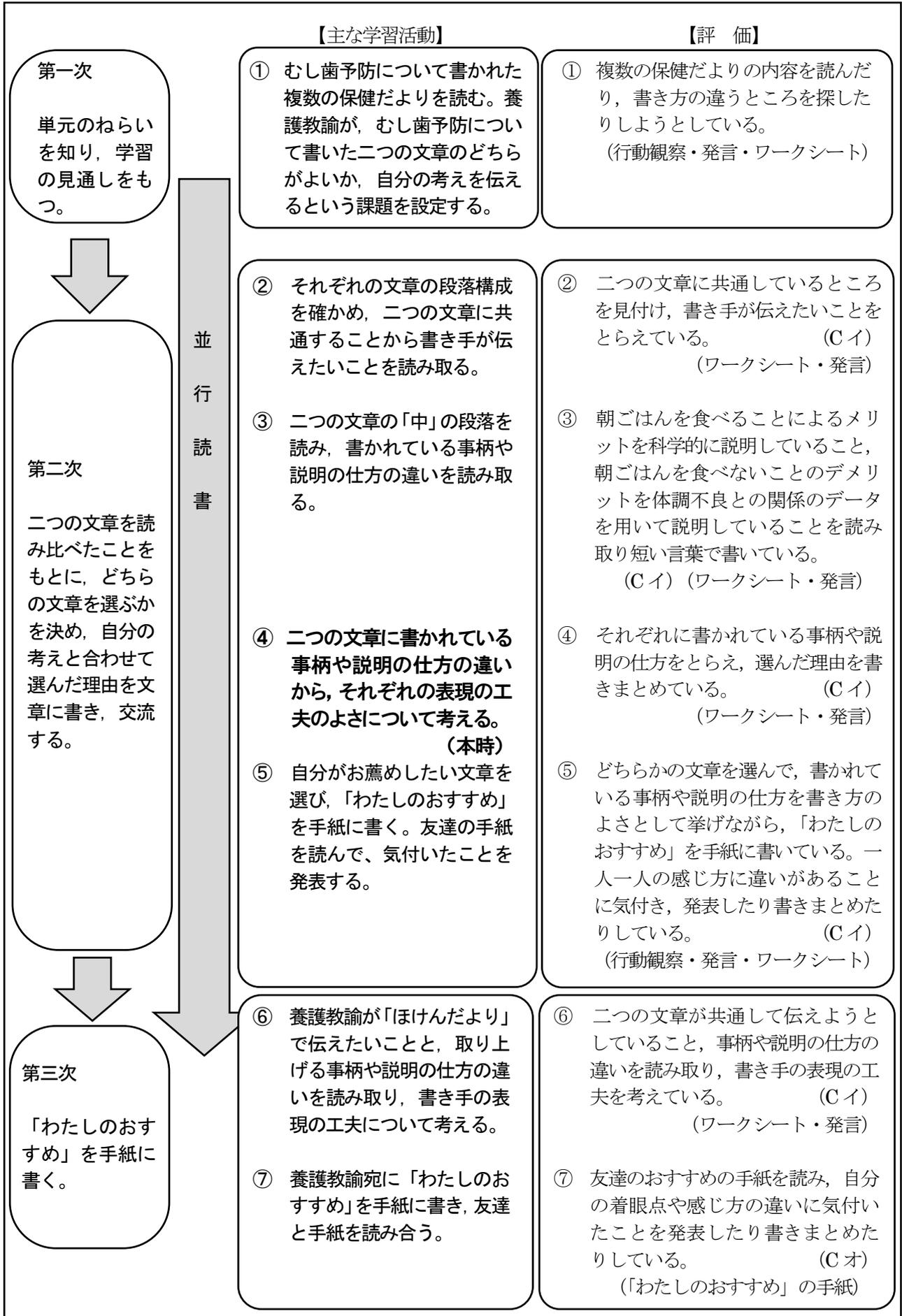
(1) 単元の指導目標

- 事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を見つけるために、進んで「ほけんだより」を読み比べることができる。 【関心・意欲・態度】
- 二つの文章を読み比べ、それぞれの事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を読み取ることができる。 【読むことイ】
- 二つの文章を読み比べて考えたことを発表し合い、一人一人の着眼点や感じ方に違いがあることに気付くことができる。 【読むことオ】
- 指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解することができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(ク)】

(2) 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
<p>○保健室の先生に、「おすすめの手紙」を書くために、事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を見つけながら、二つの文章を読もうとしている。</p>	<p>◎おすすめ理由を伝えるために、事柄の取り上げ方や説明の仕方をとらえながら文章を読んでいる。(Cイ)</p> <p>○友達が選んだ理由を書いた手紙を読んで、互いの感じ方や考え方の違いに気付いたことをまとめている。(Cオ)</p>	<p>○指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解している。(伝国(1)イ(ク))</p>

(3) 単元指導計画 (全7時間)



並
行
読
書

5 本時の指導

(1) 目標

二つの文章に書かれている事柄や説明の仕方をとらえ、選んだ理由を書きまとめることができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	指導の要点・評価
		○指導の要点 ・ 指導の留意点 ※評価箇所
導入 5分	1 前時までの学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> どちらのおたよりにするか話し合い、自分が選んだ理由を書きまとめよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・二つのお便りの文章の相違点を整理したことを振り返らせる。 ・読み手に朝ごはんをしっかり食べてもらうための書き方として、次時に自分がよいと思う理由を手紙に書きまとめられるよう学習することを確認する。
展開 35分	3 学習課題を解決する。 (1) 二つの文章の相違点を確かめる。 (2) どちらのおたよりがいいかグループで話し合う。 ○考える際の観点 <ul style="list-style-type: none"> ・どこがよいと思うか。 ・なぜ、よいと思うか。あるいは、どんな感じがするからか。 (3) 全体で、選んだ理由を交流し、よさとしてまとめる。 (板書計画に記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に整理した相違点を提示する。 (板書計画に記載) ・生活班の3人程度のグループで行う。 ○よさとして挙げる叙述(図表も含む)部分から読み手として自分が受ける印象や、なぜ、その叙述がそのような印象を与えるのかについて考えさせることをねらいとする。 ・グループ交流で話題になったことを聞き合ったり、考えあぐねたことに助言し合ったりして、全体での交流が活性化し、個々にとって有意義な場になるようにしたい。 ・全体での交流によって考えが広がるだけでなく、話し合う中で新たな考えが生み出され、深まるようにさせたい。 ・取り上げている事柄だけでなく、本で調べたり聞き取り調査をしたり、書き手が文章を書くためにしたであろうことにも考えを及ぼせたい。 ○どのようなよさがあるのか互いに聞き合うことで、次時の学習で付けたい力にも繋げたい。また、自分の選択の検討にも生かすようにさせたい。
	(4) 二つのおたよりに一つを選び、その理由を書きまとめる。 (5) 養護教諭が書いた二つの保健だよりを比べてみる。	※評価規準 B それぞれの文章の書かれている事柄や説明の仕方のよさを挙げながら、自分が選んだ理由を書きまとめている。(Cイ)(ワークシート)
終末 5分	4 本時の学習を振り返る。 ・学習感想を書く。 5 次時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・二つのお便りのよさについて考えた学習についての感想や学習して分かったこと、交流してどうだったか等を振り返らせる。

(3) 板書計画

「ほけんだより」を読みくらべよう

課題

どちらのおたよりにするか話し合い、自分が選んだ理由を書きまとめよう。

つたえたいこと

二つ目の文章

【取り上げていること】

- ・食べないと元気がなくなる。
- ・朝ごはんを食べなかった人が保健室にたくさん行っている。
- ・食べる時間がないという理由で、食べない人が多い。

【説明の工夫】

- ・表：自分で調べたこと
- ・数字：本当の数
- ・アドバイス：やってみようと思う。

【取り上げていること】

- ・元気に生活するために大切なもの。
- ・朝ごはんはエネルギー
- ・食べると体温が上がる
・・・午前中を元気にすごせる。

【説明の工夫】

- ・絵・やじるし：分かりやすい。
- ・アドバイス：やってみようと思う。

一つ目の文章

【選んだ理由】

- 食べないとどんなよくないことがあるか書いていて、反せいしようと思う。
- 実さいに調べた人数を書いていて、信じられる。
- 自分の学校の人のことを調べているので、自分にもかんけいがありそうだなと思う。
- どうすれば食べられるかアドバイスが書いていて、自分の生活に役立つ。

【選んだ理由】

- 食べるとどんなよいことがあるか書いていて、
・て、がんばりたくなる。
- 役に立つことが書いてる。
- 本に書いているようなことが書いていて、信じられる。
- どのように役立つのか図を見ると分かりやすい。

よさ